

蜂の種類や巣の特徴について

スズメバチ類

・スズメバチは攻撃性、毒性、威嚇性が高いのが特徴です。体長は種類によって異なりますが、おおよそ1.7～3cm ぐらいです。巣に近づいたり、刺激をされると攻撃をします。

スズメバチの巣は、生垣の中、庭木や家の軒下など様々な場所に、稿模様の巣を作ります。営巣初期の巣は、とっくりをひっくり返した様な形をしています。働きバチの数が増えるにつれ、だんだん大きなボール状の形になってきます。

・オオスズメバチは、スズメバチの中でも攻撃性、毒性、威嚇性が最も強く、体長は2.7～4.5cm と大きく注意が必要です。

巣は地中や樹木の空洞などに作り、巣の場所が探しにくいのが特徴です。地中付近で頻りにハチの出入りを確認した場合は、速やかにその場所から離れ、近づかないようにしてください。



初期のスズメバチの巣



大きくなったスズメバチの巣

アシナガバチ類

・アシナガバチは、スズメバチに比べ攻撃性、毒性、威嚇性は低く、体長は2cm 前後で、体が細長く、足が長いのが特徴です。攻撃性は低いですが、巣を刺激すると攻撃をします。

アシナガバチの巣は、生け垣、植え込みの中や家の軒下、壁など様々な場所に巣を作ります。巣はお椀をふせたような半球状で、六角形の穴や白い幼虫などが見えます。



アシナガバチの巣

ミツバチ類

・ミツバチの体長は1cm 前後で体は全体的に丸く、体毛があるのが特徴です。手で触ったり、巣を攻撃したりすると攻撃しますが、非常におとなしい性格です。

ミツバチの巣は、樹木の空洞や屋根裏、床下など閉鎖された場所に作ります。

ミツバチは大群で街路樹や庭木などに集まることがあります。これを「分封」と言い、女王バチが働きバチを連れて新しい巣をつくるために移動している最中の行動です。危害をくわえたりしない限り襲われることはありません。2～3日すると移動していくことが多いので、しばらくそっと様子を見てください。



床下にできたミツバチの巣



ミツバチの分封の様子